

とりもどそう！

河北潟

泳げる湖、おいしい魚、 安心して使える水

流域協議会の発足

流域管理アクションプランの作成

内水面漁業の復活

河北潟ブランドの立ち上げ

流域がつながる

5年後

河北潟の一部を再汽水化

農薬減少

農薬に頼らない農業の拡大

10年後

生きものが増える

泳げる河北潟を部分的に実現

流域管理体制の確立

天然ウナギ漁の復活

15年後

大野川の防潮水門撤去・再汽水化

泳げる

イトヨの生息復活

流域全体の農薬使用量を1割未満にする

20年後

河北潟七珍を世界に発信

海とつながる

バイオマスフローを10%増やす

自然資源を生かし、農薬に頼らない農業

汽水化

海水が流れ込むことによって、淡水から海産まで多種多様な生物が生息する豊かな環境が生まれます。シジミやウナギなど豊かな水産物が漁獲できる河北潟をとりもどします。潟が汽水であることを前提として流域の治水管理を一から見直します。

シジミやウナギ、 美味しい魚介類がたくさんとれる河北潟に



汽水とは？

淡水と海水が混じり合った水のことを汽水といいます。河北潟はもともと汽水湖で、ウナギなど海の生きものも生息する豊かな環境でした。

汽水化のメリットは？

シジミやウナギ、水草が復活します。河北潟が高付加価値の水産資源の宝庫となります。潟の水質も改善され、農産物のイメージも向上します。

農業用水は？

十分な調査と検討に基づき、農業用水の取水経路の改善や干拓地への浸出水対策などを行い、農業用水や農地への塩害の発生を抑えます。

暮らしへの影響は？

水産資源が増えて、食が豊かになります。河北潟の水位を下げることも可能となり、水害に対しての調整能力が高まることが期待できます。

アサザの復活 外来植物除去活動

外来植物除去活動の継続により、絶滅の危機にあったアサザが守られました。農家や土地改良区、市民、企業、教育機関、行政、NPOなど大勢の協力により、地域に守られた水路が再生しています。



これまでの20年 河北潟で広がった

豊かな河北潟の自然環境を
協力、連携、参加いただきな

田んぼ生態系保全 生きもの元気米

生態系への影響
が大きい農薬2つを
使わないことを条件
につくられたお米。
田んぼの個性と、
生物多様性を守る仕
組みにより、応援の
輪が広がっています。



ゴミの減少 河北潟クリーン作戦

毎回数百名が参加するゴミ拾い活動
が20年以上継続されており、大型ゴミは
減り、ゴミだらけの印象はなくなりました。



2002年の湖岸

業を推進して、流域全体を豊かにしよう

流域保全

河北潟の水がきれいになれば、魚や貝などの水産物もたくさん食べられ、農産物の価値もいっそう高まります。一次産業、二次産業、三次産業を豊かな河北潟で結びつけることにより、自立した地域となります。

きれいな水から豊かな資源
潟の恵みが、新しい産業を生み出す土台となる

流域を健全にする農林業

潟を豊かにするのは、流域がもたらす栄養と清浄な水です。農薬や化学肥料の使用を抑制することで、最下流にある河北潟の生物を安心して食べることができます。流域コミュニティも生まれます。

『農薬に頼らない農業』ってできるの？



まずは農薬の使用を減らしていくことから始め、生物や作物の状態をみながらすすめることで、色々な展望が生まれ、地域独自の技術力も向上することが期待できます。



た環境保全活動

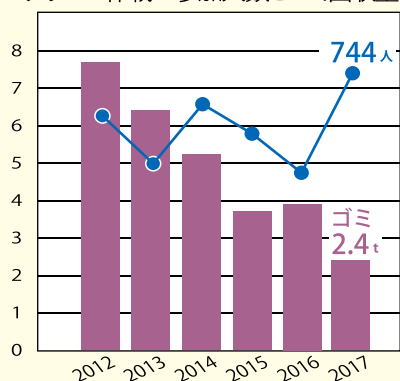
を守るために、色々な方と
ながら、取り組んできました。

植物の利用促進 ヨシ舟や花染め体験

ヨシの新しい活用としての「ヨシ舟づくり」、外来種の除去と利用をすすめるセイタカアワダチソウの花染めや、抜き取り大会など体験イベントも増えました。



クリーン作戦の参加人数とゴミ回収量



利用者による調整 河北潟湖面利用ルール

河北潟の湖面を利用する人々により、自主規制のルールがつけられました。立場の異なる人たちが集い、人も野生生物も共存できるように話し合われました。現在は年に1度の協議会により、ルールの見直しと拡充が図られています。



河北潟湖沼研究所が掲げる河北潟の将来ビジョン

流域の森や農地に支えられた汽水生態系の復活により、
河北潟から豊かさを持続的に享受できる地域を目指します。

ビジョン実現のイメージ

流域全体で農薬に頼らない農業が展開され、ヤマトシジミ、ウナギなどが生息する河北潟が復活し、潟漁が営まれて食卓も豊かになります。潟には、水草が増えて水も透明になり、清湖のきれいな水と自然が取り戻された流域には、色々な地場産業が発展します。



地域に活力を与え続ける「河北潟」の実現がわたしたちのビジョンです。

ビジョン実現に向けてのミッション

- ・課題を達成するための調査研究の実施。
- ・研究成果の検証と、方法の構築。
- ・行政機関、地域住民、産業など、多くの関係者との連携。

ビジョン進捗状況



参加・応援ください！

ご入会窓口



寄付お願い



農産物購入



フェイスブック



メルマガ登録



資金援助、連携体制づくり、ビジョン実現にむけてのご協力をよろしくお願い申し上げます。

2018年11月 発行

河北潟湖沼研究所が掲げる河北潟の将来ビジョンとミッション
「とりもどそう！ 河北潟 泳げる湖、おいしい魚、安心して使える水」

制作 NPO法人河北潟湖沼研究所

〒929-0342 石川県河北郡津幡町字北中条ナ9-9 Tel 076-288-5803 Fax 076-255-6941
E-Mail info@kahokugata.sakura.ne.jp URL <http://kahokugata.sakura.ne.jp>



ホームページ

このパンフレットは、平成30年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて制作しました。

